

水墨画家
村井 紘一

●プロフィール

1982 年生まれ 北海道札幌市出身
2006 年 酪農学園大学卒業
2009 年 イギリスで徳川家康の甲冑を水墨画で描く
2012 年 李鉄君師より伝統水墨画を師事
2015 年 山伏との出逢いを切っ掛けに龍を描く
2017 年 8 月京都の寺の天井へ龍を完成
2018 年 全国各地にある神社の復興と
地域活性化に水墨画で携わる

●絵を描き始めたきっかけとは？

2009 年。イギリスロンドンで開催されていた
日本文化のイベントへ「書道家」として
出展した際のこと。「侍」という文字を外国人へ
書で描きあげるより侍の「絵」を描いて表現する
方が極めてシンプルに伝わると身をもって実感。
初めて描いた徳川家康の「甲冑」を前に集まる
お客さんへ向けて侍とはただの Warrior ではないと
語ってるスタンスに大きなやりがいを感じた



●「目的」

絵は見える形として心へ訴えかける「ツール」
たった 1 枚の小さな絵が時に一人の心へ突き刺す
時に感動を生む事 それが本来の絵の力

そして人との出逢いから生まれる
「挑戦」や「冒険」
この先行けば何があるんだろう？
その好奇心が新たな作品を生み出す

●日本人に生まれて

Mexico のタコス、あの辛さがサイコーにうめえんだ。自国の食や音楽について
嬉しそうに熱く話しかける同僚のメキシコ人の顔が今も忘れられない。
おい！コーイチお前、日本人だろ？？ JAPAN について何か教えてくれよ。
マリナーズのイチロー選手に Toyota, Honda に折り紙。
カリフォルニア州で 2005 年から農業研修へ参加してた当時 21 才の頃の話だ。
その時に感じた虚しさ。そして「もっと堂々と日本人である事を誇りに思いたい」
という想いが湧き上がって来た。なぜ私は日本に生まれたの？日本人にしか
できないことって何？振り返ると私の出発点はいつもここにある

